

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年4月23日（月）

2 確認箇所

がれき類一時保管エリアC

3 確認項目

がれき類一時保管エリアCの雨水排水経路等の状況

4 確認結果の概要

がれき類一時保管エリアCにおいては、これまでの降雨時の調査で雨水集水枡から放射性ストロンチウムが検出され、シート養生等の対策が検討されていることから、廃棄物の保管状況や雨水排水経路等の状況を確認した。

- ・当該エリアには、通路の両側に金属類や不燃物を中心にした廃棄物が保管されていた。東京電力によると廃棄物のエリア占有率は約90%であり、今年末まで廃棄物を受け入れる予定である。（写真1）
- ・廃棄物を保管しているエリアには雨水側溝は整備されておらず、エリア内の雨水は浸透するか、エリア東端に設置されている土側溝に自然に流下して集水枡を経由して排水される。（写真2、3）
- ・エリア東端に設置されている土側溝には、ストロンチウム吸着材が設置されていた。（写真4）
- ・東京電力によると、5月以降は降雨時に毎日、当該エリアの集水枡から採水しモニタリングを継続するとともに、今年度から雨水対策として廃棄物のシート養生を実施する計画である。



（写真1）



(写真2)



(写真3)

東京電力によると、写真右側の暗渠配管は詰まっております機能していません。

5月以降、降雨時に当該枡から採水することになる。



(写真4)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。